

平成 30 年度辰巳台地区社会福祉協議会事業計画（案）

<活動方針>

誰もが安心して地域で暮らせるよう、地域に住む人同士が、支え合い助けあうまちづくりをめざし、仲間の輪を広げていきます。また新しく策定した「地区行動計画」の実現のために、各種団体や地域の人々と連携・協力し活動を進めます。

<活動計画>

1. 事業

1) 通いの場と子どもの居場所

- ・昨年立ち上げた「ほっとサロン」を継続し充実させます。高齢者を始め誰もが気軽に来れる場所として、イベントなども定期的に企画します。また市原市の推進する「通いの場事業」の対象となるよう、介護予防などのメニューにも取り組みます。
- ・子どもの居場所として、現在、京葉教育文化センターが実施している「子ども食堂トイレ」を共催で、月に2回行います。（そのうちの1回を担当）そのためのボランティアを募集します。
- ・辰巳台地区に「通いの場」を立ち上げ普及させるために、市社協との連絡や取りまとめの窓口になるなど、具体的な支援を行います。

2) 日常生活支援事業

- ・安心生活見守り支援事業（民児協、連合町会と共催）を継続します。また実施から3年が経過し、いくつかの課題について協議しましたが、見守り対象者の見直し、実施体制の強化など新しくつくられた「実施要領」をもとに、「孤独死を発生させない」という基本理念に基づいて事業を進めていきます。
- ・住民参加型有償サービス「たすけあい辰巳ねこの手」の活動に協力し、「買い物ツアー」「買い物代行」事業を含めた、日常生活支援サービスを広めるよう努めます。

3) 辰巳台地区福祉バザー&福祉祭り（連合町会と共催・11月25日）を開催します。

4) 相談事業

「よろず相談どころ」を毎月1回（第1日曜）開催します。（民児協と共催）

5) 人材発掘・人材育成事業

- ・各団体と連携して、有効なかたちでボランティアの募集をし、担い手となる仲間の輪を広げます。
- ・地域4校で「福祉体験教室」を実施します。

6) 自主財源づくり事業

- ・リサイクル（資源回収）事業を実施します。
- ・賛助会費・・・地区社協の活動を、より知ってもらうことで賛助会費に繋げ昨年度の実績を確保します。
- ・福祉バザー&福祉祭りの模擬店、お楽しみ券などを実施します。
- ・募金活動（マックスバリュ辰巳店の黄色いレシート還付金など）を実施します。

2. 研修

- 1) 辰巳台地区地域福祉関係者合同研修会（民児協と共催・2月3日）を実施します。
内容についても新たな視点で考えていきます。
- 2) スタッフのスキルアップのための研修会
- 3) 県、市、他団体主催の研修会に参加

3. ホームページの開設等、インターネット環境の整備について検討します。

4. 「辰巳台地区・地域活動拠点検討委員会」に参加し、「住民活動の拠点づくり」の実現をめざします。

5. 地域包括ケアシステムの構築に向けて、第2層（中学校区）の会議を立ち上げ、活動を開始します。

6. 会議

総会	会計監査
理事会	2回（福祉バザー&福祉祭りについてほか）
町会長との会議	1回（福祉バザー&福祉まつりについて）
社協役員会	随時
合同役員会	1回/隔月（ネットワークとねこの手）
事務局会議	1～2回/月
検討会	必要に応じて開催

7. 辰巳福祉ネットワーク事業への支援及び連携

8. たすけあい辰巳ねこの手の事業への支援及び連携

9. 辰巳ふれあいセンター運営委員会によるセンターの管理・運営に協力

10 地域の各団体、施設の行事に参加、協力

11. その他・地域福祉関係者懇親会